

被災場所：太陽電池発電所  
原因分類：自然災害/氷雪  
被害内容：パネル〇〇台及び架台の破損  
詳報XMLテンプレート番号：202504\_01



## <事故概要>

当該太陽電池発電所付近に想定量を超える降雪が短時間に発生したことでパネル前方の地面に雪が堆積し、架台強度が積雪荷重に耐えきれずに架台及びパネルの破損が発生した。

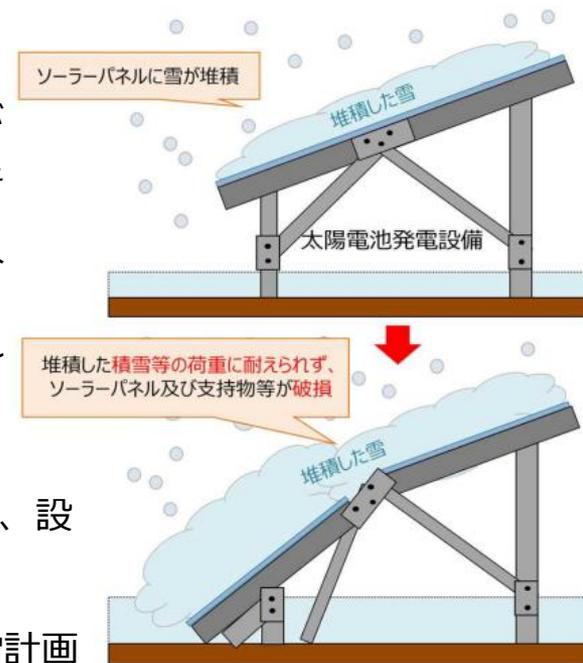
出典：「地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン 2019 年版」  
(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)

## <事故原因>

- パネル上の積雪がパネル全面の地面に堆積したことによりパネル上に雪が積もり、積雪荷重が当初の想定以上の重量となってしまう、架台強度が足りなかった。
- 当該地区の降雪により現地への重機及び作業員の手配が間に合わず、パネルの除雪作業が遅れた。
- 監視装置からのエラー通知について、設置者から関係各位への連絡が遅れたことで復旧作業開始までに時間を要した。

## <事業者及び関係者が行った防止対策>

- JIS やガイドライン等に従い、気象条件（要求事項）に応じた架台の設計、設置の再検討を行う。
- パネル上の積雪が地面に落ちるように、パネル傾斜角の再検討を行う。
- 気象情報に基づいて早期に除雪作業を実施できる体制を組み、事前に除雪計画を策定・運用する。
- 冬期（〇月～〇月）は発電所内の倉庫にて除雪車を常備することとした。
- 監視カメラや定期的な目視確認で降雪状況をモニタリング可能な環境を整備した。
- パネル周辺の地面の積雪高さが一定値を超えた場合の、定期的な除雪作業を保安業務として組み込んだ。



<https://www.nite.go.jp/gcet/tso/prs241209.html>